

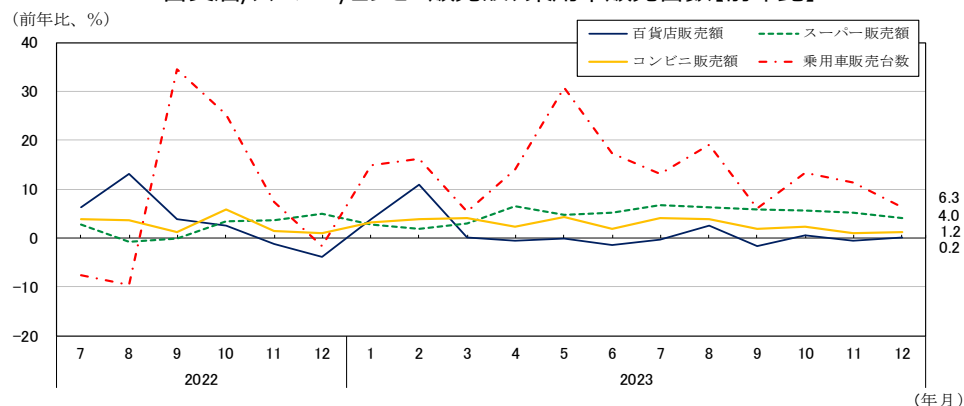
《最近の県内経済》 (2023年12月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。

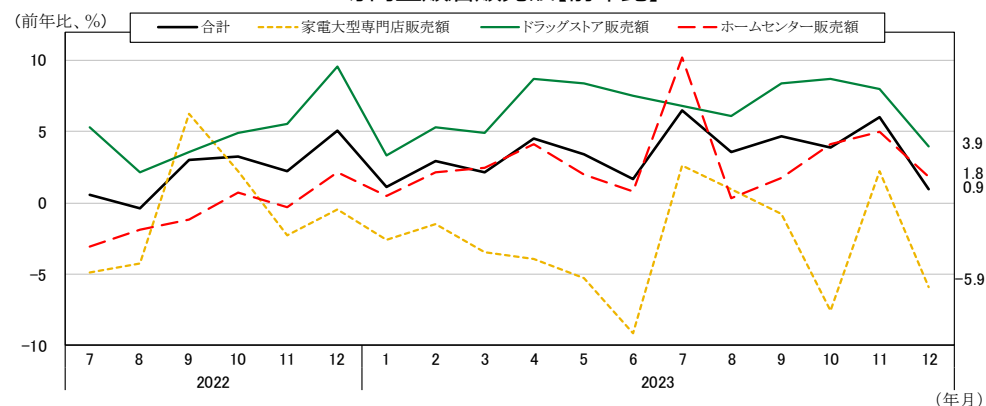
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

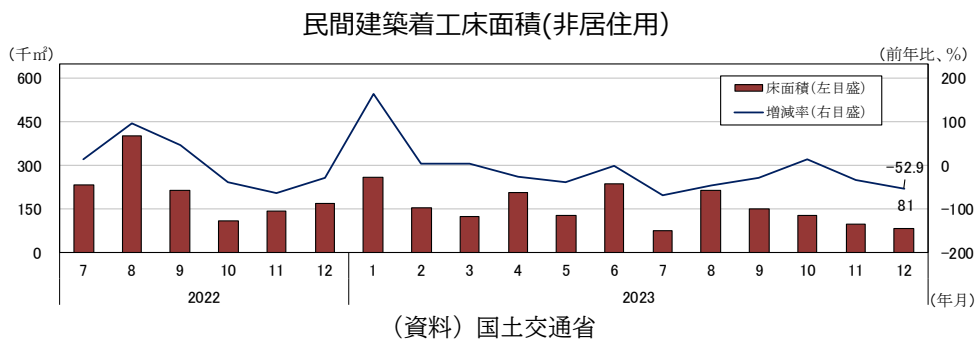
12月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は173億円で前年比0.2%増（2か月ぶりの増加）、スーパーは1,267億円で同4.0%増（15か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は591億円で同1.2%増と26か月連続の増加となった。商品値上げによるマイナスの影響はあるものの、クリスマス・年末商戦が堅調に推移した。

また、乗用車販売は、認証試験不正による出荷停止の影響が出始めたものの、前年比6.3%増と12か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同比5.2%減と4か月連続の減少、軽乗用車が同比1.0%減と2か月連続の減少となったものの、普通車が同比20.5%増と12か月連続の増加となった。

12月の専門量販店販売額は、891億円で前年比0.9%増と16か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が209億円で同5.9%減（2か月ぶりの減少）となったものの、ドラッグストアが463億円で同3.9%増（19か月連続の増加）、ホームセンターが219億円で同1.8%増（13か月連続の増加）といずれも増加となった。家電大型専門店については、暖冬による季節家電の伸び悩みの影響を受けた。

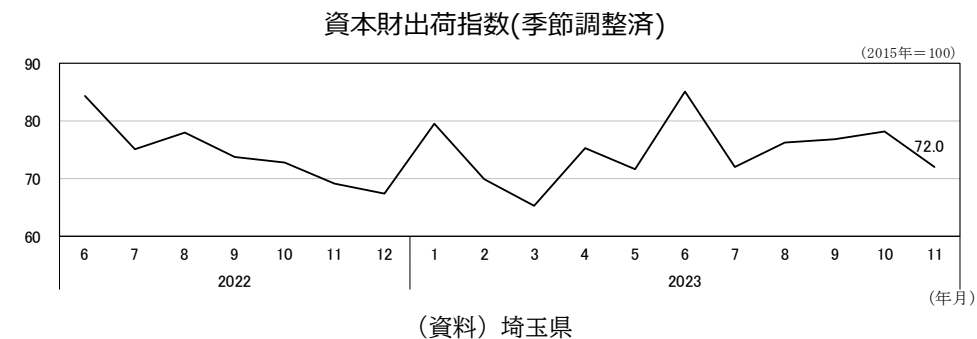
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、11月〈36.6〉、12月〈38.0〉、1月〈39.0〉と推移している。

2 設備投資～投資計画は強いものの、足元弱含んでいる



12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、81千㎡で前年比52.9%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも前年比35.5%減)。

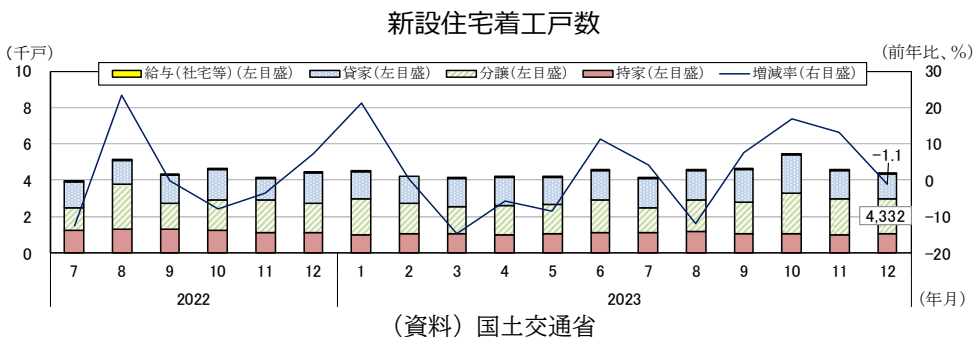
用途別にみると、事務所、店舗は増加したものの、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所はいずれも減少した。



11月の資本財出荷指数(季節調整済)は72.0で、前月比8.0%減と4か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均でも、前年比2.6%減)。

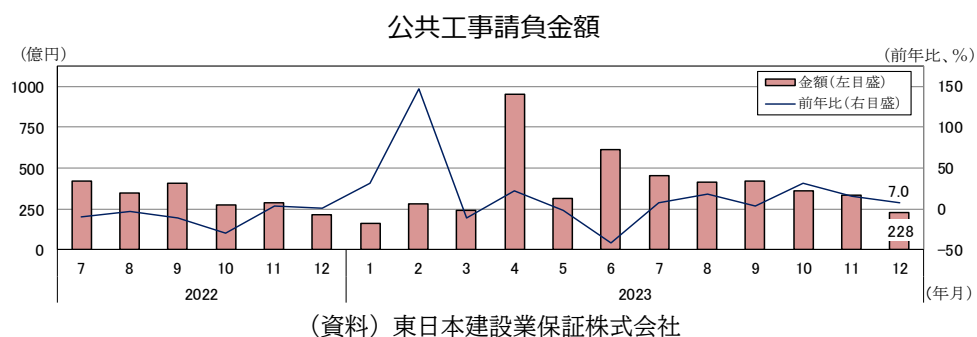
当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+8.8%)。

3 住宅建設～一進一退



12月の新設住宅着工戸数は、4,332戸で前年比1.1%減と4か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では5.4%増)。利用関係別にみると、分譲マンション(572戸)が前年比105.8%増、分譲一戸建て(1,341戸)が同0.6%増となったものの、持家(1,040戸)が同7.7%減、貸家(1,376戸)が15.0%減といずれも減少した。

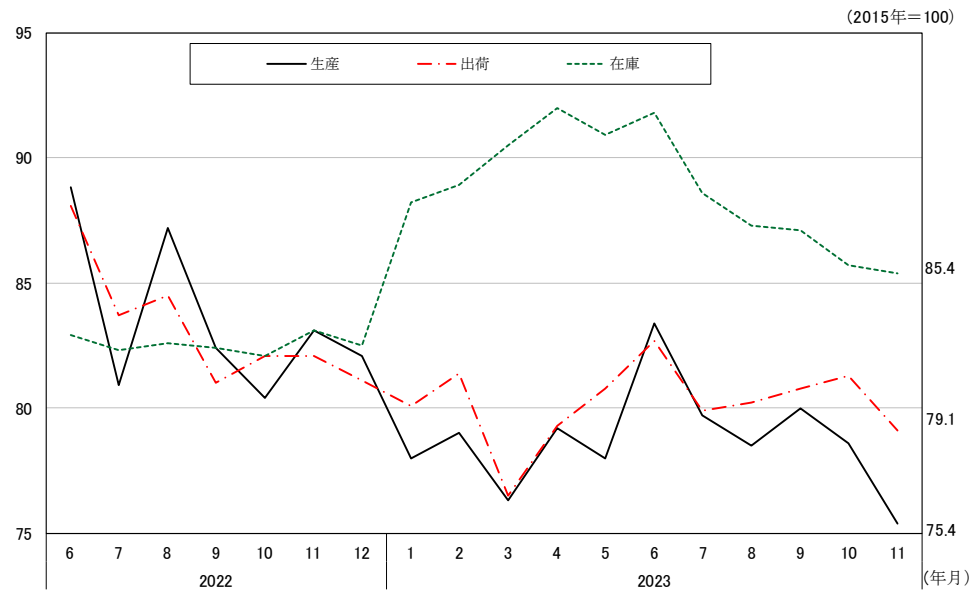
4 公共工事～横ばいとなっている



12月の公共工事請負額は228億円、前年比7.0%増となった(6か月連続の増加)。5か月後方移動平均でも前年比14.6%増で推移。発注者別の前年比をみると、独立行政法人等、都道府県は減少したものの、国、市区町村、地方公社はいずれも増加した。

5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



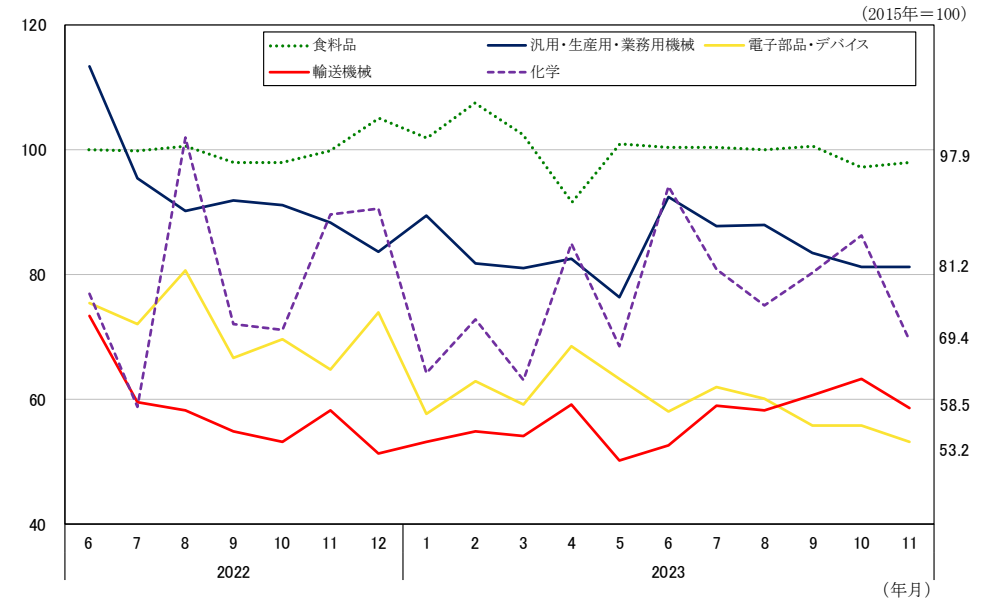
(資料) 埼玉県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、75.4で前月比4.1%低下した(2か月連続の低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品)、電気機械(電力変換装置、クッキングヒーター)などが上昇したが、化学(医薬品、ウレタンフォーム)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

出荷指数(同)は、79.1で同2.7%減少した(4か月ぶりの減少)。化学(医薬品、化粧品)、電気機械(電気計器、電力変換装置)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、マシニングセンタ)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

在庫指数(同)は、85.4で同0.4%低下した(5か月連続の低下)。生産用機械(マシニングセンタ、研削盤)、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)などが上昇したが、電子部品・デバイス(混成集積回路、光電変換素子)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下した。

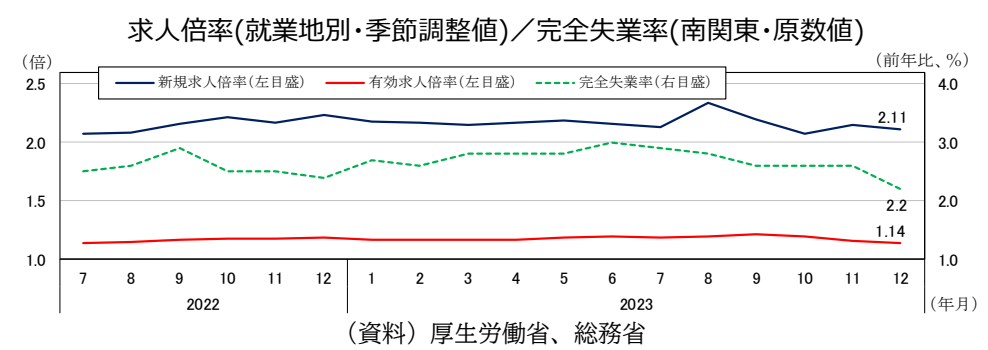
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

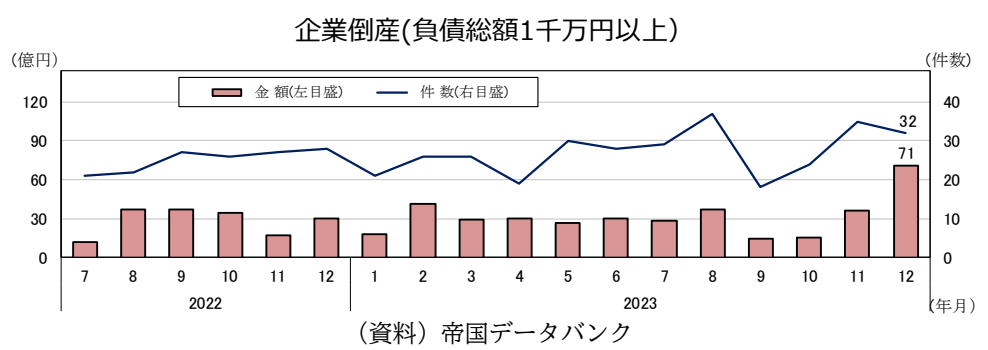
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、97.9で前月比0.7%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、81.2で同横ばいとなった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、53.2で同4.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、58.5で同7.6%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、69.4で同19.5%低下し、3か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



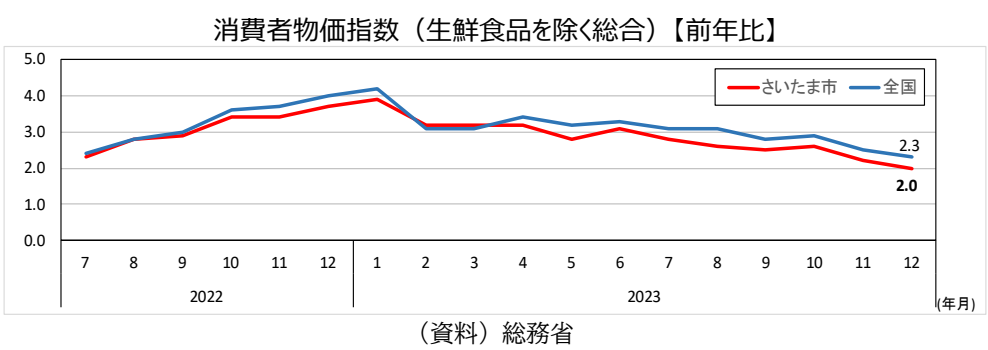
12月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.14倍で前月比0.02ポイント低下した(3か月連続の低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.11倍で前月比0.04ポイント低下した(2か月ぶりの低下)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.2%で前年同月比0.2ポイント低下した(前年同月比3か月ぶりの低下)。

7 企業倒産 ~増加傾向にある



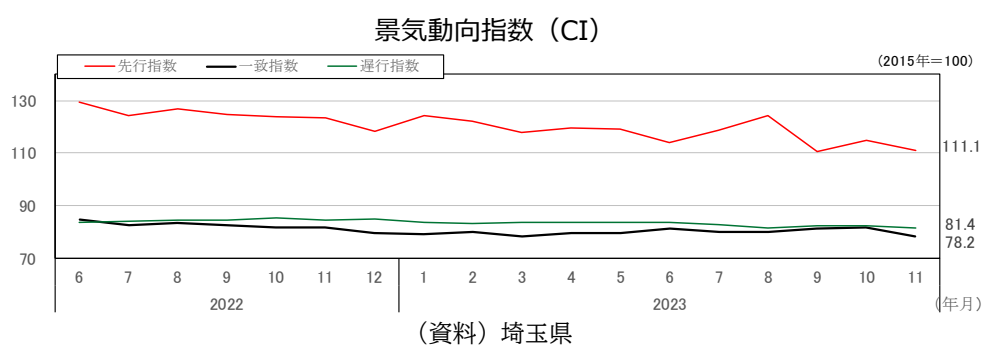
12月の企業倒産件数は32件で前年同月比4件の増加、負債総額は71億円で同比41億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比3件の増加、負債総額は同比4億円の増加)。
業種別にみると、建設業が最多で11件。次いで卸売業、小売業、運輸・通信業それぞれ5件となっている。主因別では、販売不振が29件となっている。

8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



12月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.7で前年同月比2.0%上昇した(27か月連続の前年同月比上昇)。
電気代、ガス代は下落したものの、食料(調理食品など)や教養娯楽(宿泊費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~改善を示している



- 11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、78.2で前月比3.5ポイント下降し、4か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、111.1で同3.7ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、81.4で同1.3ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。